

# 流動性規制第3の柱に基づく開示事項

## I. 流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

### 1. 連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

- (1)時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項
  - ・2021年3月期の連結流動性カバレッジ比率は、適格流動資産の増加を主因に、2020年12月期対比7.1ポイント上昇し、138.0%となりました。
  - ・2020年3月期の連結流動性カバレッジ比率は、ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額の増加を主因に、2019年12月期対比1.7ポイント低下し、126.6%となりました。
- (2)連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項  
連結流動性カバレッジ比率の平均値は、流動性カバレッジ比率に関する基準の規制水準を上回って推移しており、流動性リスク管理上、問題ないと認識しております。
- (3)算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項
  - ・算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成に著しい変動はありません。
- (4)その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項
  - ・流動性カバレッジ比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」は適用しておりません。
  - ・流動性カバレッジ比率告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用しておりません。
  - ・連結対象子会社については、流動性カバレッジ比率の水準への影響が極めて小さい小規模の連結子法人等であるため、簡便的な取扱いをしております。
  - ・平均値算出にあたり、日次データを使用せず、前月末データを使用している項目は以下の通りです。  
安定・準安定預金の判定及びリテール・ホールセールの判定を行う属性データ  
個人及び中小企業等の当座貸越に関わる与信ファシリティ金額

### 2. 単体流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

- (1)時系列における単体流動性カバレッジ比率の変動に関する事項
  - ・2021年3月期の単体流動性カバレッジ比率は、適格流動資産の増加を主因に、2020年12月期対比7.4ポイント上昇し、139.3%となりました。
  - ・2020年3月期の単体流動性カバレッジ比率は、ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額の増加を主因に、2019年12月期対比1.4ポイント低下し、127.9%となりました。
- (2)単体流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項  
単体流動性カバレッジ比率の平均値は、流動性カバレッジ比率に関する基準の規制水準を上回って推移しており、流動性リスク管理上、問題ないと認識しております。
- (3)算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項
  - ・算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成に著しい変動はありません。
- (4)その他単体流動性カバレッジ比率に関する事項
  - ・流動性カバレッジ比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」は適用しておりません。
  - ・流動性カバレッジ比率告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用しておりません。
  - ・平均値算出にあたり、日次データを使用せず、前月末データを使用している項目は以下の通りです。  
安定・準安定預金の判定及びリテール・ホールセールの判定を行う属性データ  
個人及び中小企業等の当座貸越に関わる与信ファシリティ金額

## II. 流動性リスクに関する開示事項

### 1. 流動性に係るリスク管理の方針及び手続の概要に関する事項

流動性リスクは銀行が存続する上で最も基本的かつ重要なリスクであるとの認識のもと、資金繰りにおいて市場調達に過度に依存することのないよう管理するほか、速やかに資金化できる資産を一定水準以上保有する等により流動性リスクに備えることを基本方針としています。

流動性リスク管理にあたっては、当行を取巻く環境変化など流動性リスクに与える要因の特定・分析・評価をもとに、年度ごとに「流動性リスク管理方針」を策定し取締役会の承認を得ております。「流動性リスク管理方針」では、流動性リスク管理における限度枠等を定め、流動性リスク統括部署において日次で管理しています。

流動性リスクの状況については、定期的に「ALM・統合リスク管理委員会」、「ALM・統合リスク管理会議」及び取締役会に報告しています。

### 2. 流動性に係るリスク管理上の指標に関する事項

当行では、資金繰りの逼迫度を「通常時」「懸念時」「危機時」に区分し、資金繰り逼迫度に応じた対応策や体制を定めております。リスク管理指標としては、流動性カバレッジ比率を用いており、規制水準(100%以上)より厳しい水準を定め管理しております。また、外貨では資金繰り逼迫度区分に応じた向こう1週間と向こう4週間における調達限度額を定め、過度な市場調達や短期調達とならないように管理しております。

### 3. その他流動性に係るリスク管理に関する事項

特に外貨調達は市場調達の割合が高いことから、複数の取引先とコミットメント形式の通貨スワップ契約を締結し、市場環境の悪化などに備えております。

また、流動性ストレス時の対応として「非常事態マニュアル(金融危機編)」を定め、緊急時に迅速かつ適切な対応を図る体制を整備しております。

### Ⅲ. 流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

#### 1. 連結流動性カバレッジ比率

(単位：百万円、%、件)

項目		2021年3月期		2020年12月期	
<b>適格流動資産 (1)</b>					
1	適格流動資産の合計額	2,837,508		2,437,953	
<b>資金流出額 (2)</b>					
		資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額	資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	5,484,296	418,131	5,419,002	414,183
3	うち、安定預金の額	1,931,655	57,949	1,890,455	56,713
4	うち、準安定預金の額	3,551,876	360,181	3,527,729	357,469
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	2,818,741	1,776,923	2,561,269	1,538,015
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホール セール無担保資金調達に係る資金の額	2,744,894	1,703,076	2,493,731	1,470,477
8	うち、負債性有価証券の額	73,847	73,847	67,538	67,538
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	34,602		29,405	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリ ティに係る資金流出額	2,092,438	355,682	2,065,592	331,915
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	138,102	138,102	113,804	113,804
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,954,336	217,580	1,951,787	218,111
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	50,883	44,352	43,063	38,727
15	偶発事象に係る資金流出額	34,663	693	33,997	679
16	資金流出合計額	2,630,387		2,352,927	
<b>資金流入額 (3)</b>					
		資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額	資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	573,307	338,764	545,099	319,899
19	その他資金流入額	280,367	236,932	224,157	171,401
20	資金流入合計額	853,675	575,696	769,257	491,301
<b>連結流動性カバレッジ比率 (4)</b>					
21	算入可能適格流動資産の合計額	2,837,508		2,437,953	
22	純資金流出額	2,054,690		1,861,625	
23	連結流動性カバレッジ比率	138.0		130.9	
24	平均値計算用データ数	60		63	

## 2. 単体流動性カバレッジ比率

(単位：百万円、%、件)

項目		2021年3月期		2020年12月期	
適格流動資産 (1)					
1	適格流動資産の合計額	2,837,508		2,437,953	
資金流出額 (2)					
		資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額	資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	5,484,299	418,131	5,419,006	414,183
3	うち、安定預金の額	1,931,655	57,949	1,890,455	56,713
4	うち、準安定預金の額	3,551,880	360,182	3,527,732	357,470
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	2,834,506	1,792,688	2,576,404	1,553,150
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホール セール無担保資金調達に係る資金の額	2,759,124	1,717,306	2,507,279	1,484,024
8	うち、負債性有価証券の額	75,382	75,382	69,125	69,125
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	34,602		29,405	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリ ティに係る資金流出額	2,133,000	371,907	2,105,340	347,814
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	138,102	138,102	113,804	113,804
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,994,898	233,805	1,991,536	234,010
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	15,949	9,419	11,620	7,283
15	偶発事象に係る資金流出額	34,663	693	33,997	679
16	資金流出合計額	2,627,443		2,352,517	
資金流入額 (3)					
		資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額	資金流入率を 乗じる前の額	資金流入率を 乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	589,143	354,516	558,293	333,018
19	その他資金流入額	280,381	236,946	224,170	171,414
20	資金流入合計額	869,524	591,462	782,464	504,433
単体流動性カバレッジ比率 (4)					
21	算入可能適格流動資産の合計額	2,837,508		2,437,953	
22	純資金流出額	2,035,980		1,848,084	
23	単体流動性カバレッジ比率	139.3		131.9	
24	平均値計算用データ数	60		63	

財務データ

自己資本の充実の状況

流動性に係る経営の健全性の状況

報酬等に関する開示事項